

平成28年(2016)9月2日～6日

平成28年度(2016)

第2回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成28年度（2016）第2回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

9月2日（金） 10:00 開会			9月5日（月） 10:00 開会			9月6日（火） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	福島孝雄	3	1	松村豪人	9	1	萬代輝正	15
2	川上幸博	4	2	大場利信	10	2	小村吉一	16
3	米山広志	5	3	保科孝充	11	3	伊藤繁満	17
4	坂根守	6	4	岸道三	12	4	井原優	18
5	勝部順子	7	5	原正雄	13	5	板倉一郎	19
6	大谷良治	8	6	珍部全吾	14	6	神門至	20

質問者	7	福島孝雄	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 出雲市における食品ロス削減について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 学校給食での食べ残し状況を伺う。 ② 学校教育での食育・環境教育を通しての食品ロス削減の啓発状況を伺う。 ③ 一般事業所（飲食店等）・指定管理事業所での食品ロス削減の取り組み状況を伺う。 ④ 災害備蓄食品の消費期限後の処理について伺う。 ⑤ 生活困窮者へ無償提供する「フードバンク」への取り組みを伺う。 ⑥ 行政・議会での各種、懇親会等での食べ残し状況及び、食品ロス削減の取り組みを伺う。 			
(2) 出雲市における農業の動向について		農林水産 部長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 平成28年産米の動向について <ul style="list-style-type: none"> ア 主食用米・加工用米・飼料用米の生産割合を伺う。 イ 低コスト化における所得向上の実態を伺う。 ウ JAしまね「一括買取制度」について「委託制度」から「買取制度」に替わった要因を伺う。 ② 国のTPP対策関連補正予算の活用について <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市での利用状況と今後の取り組みについて伺う。 イ 出雲市において中山間地域の所得向上支援策をどう考えるか伺う。 			

質問者	22 川上幸博		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 子供の貧困対策について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市の現状 ② 就学助成措置について ③ 奨学金制度の現状と返済状況 ④ 子供食堂という事が言われているが出雲市での状況 ⑤ 貧困についての所見 		教育長	
(2) 農業所得向上に向けた出雲市の対応策を伺う			
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市の平均的な生産コストはいくらか <ul style="list-style-type: none"> ア 水稲（コシヒカリ、きぬむすめ、つやひめなど） イ 果樹（ブドウ、柿など） ② 出雲市としての所得向上策は何か ③ 農産物の輸出が言われているが、バックアップ体制は ④ 担い手育成として、今後特に女性の力が大切になってくる。6次産業化への取り組むためにも3F事業など女性のための補助メニューも必要と考えるが行政としての体制を伺う 		副市長	

質問者	27 米 山 広 志		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 十間川改修事業		市長	
① 平成27年度までの改修事業の進捗は ② 持田橋の改築計画とスケジュール ③ 今後の改修計画			
(2) 定期監査報告書の改善・検討について		市長	
① 適正な積算根拠に基づく契約 (佐田地域スクールバス運行業務) ア 平成22年度～平成27年度までの委託料 ② 厳密な運用が求められる随意契約 (出雲科学館理科学習児童、生徒輸送業務) ア 平成22年度～27年度までの各年度の委託料 イ 平成22年度～27年度までの各年度の小・中学校の バス利用の学級数 ウ 改善に向けて検討されたか。			
(3) コミセンの事務軽減策は		市長	
① 行政関係事務の軽減を検討されたか。 ② 支所とコミセンのかかわり			

質問者	24 坂根 守		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
<p>(1) 幼稚園の定員割れの解消策はあるのか</p> <p>① 幼稚園と保育園の大きな違いはどんな点か</p> <p>② 幼稚園の定員数と入園者数はいくらか、入園者数は定員の何%か</p> <p>③ 入園率のよい園はあるのか、それは何幼稚園か、また地域性とかなにか傾向があるのか</p> <p>④ 延長保育を導入した効果はあるのか</p> <p>⑤ 最近3年間の保育園の定員増の数と待機児童の数はいくらか</p> <p>⑥ 多伎こども園の現在の状況をどう見ておられるのか、今後こども園化に取り組む幼稚園はあるのか</p> <p>⑦ 幼稚園の入園者が少し多くなれば保育園の待機児童はなくなると思いますが、幼稚園教育への新たな取り組みとかがありますか伺います</p>		市長		
<p>(2) 文部科学省が出した英語教育の早期化への対応は十分か</p> <p>① 2020年から「小学3年生から必修化」「小学5年生から教科化」されるが対応はできているのか</p> <p>② 英語教育の早期化に反対する声があるがどう考えるか</p> <p>③ フィンランドのカラヨキ市との交流で感じたことに、中学生の英会話がとても上手である、フィンランドの国際交流員の英語も日本語も素晴らしい、外国語教育で何か取り入れる点があるのではないかと思うが</p>		市長		

質問者	26 勝部 順子		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 改正発達障害者支援法		健康福祉 部長	
<p>① 5月25日に参議院本会議で10年ぶりに「発達障害者支援法」が改正されました。</p> <p>ア 法改正で何がどう変わるのでしょうか。期待される効果について伺う。</p> <p>イ 「改正発達障害者支援法」の3つのポイントの具体策</p> <p> a ライフステージを通じた切れ目のない支援</p> <p> b 家族なども含めた、きめ細やかな支援</p> <p> c 地域の身近な場所で受けられる支援</p> <p>ウ 国・県・市の役割。</p>			
(2) 緊急通報システムの現状について		健康福祉 部長	
<p>① 平成26年度第3回定例会で、緊急通報システム事業について質問いたしました。</p> <p>その際、現在のシステムが平成29年10月に更新時期を迎えることを踏まえ、民間企業が行っているサービスも含め、緊急時の通報体制を検討するとされました。</p> <p>新制度も4月から開始されています。</p> <p>現状について伺います。</p>			

質問者	1	大谷良治	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 市有地売却の現況について		財政部長	
① 売却市有地の現況と今後の見通しと課題 ② 管理について			
(2) 鳥獣対策とジビエの活用について		市長	
① 有害鳥獣被害対策の現状と今後の取組と課題 ② 捕獲従事者の現状と確保対策 ③ ジビエの取組と現状について			

質問者	17 松村豪人	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 再生可能エネルギーの地産地消を進めてほしい		記事
<p>① 風力、太陽光、バイオマス等の再生可能エネルギーの推進について、市民に見える形でさらに進めてほしい。それが市民のエネルギーに対する関心を高め、理解を頂くことにつながると考えている。</p> <p>ア 国の再生可能エネルギー固定価格買取制度の動向を踏まえ、本市としてどのように施策を進める考えか。</p> <p>イ 自治体によっては、民間による地域電力会社の設立を支援して「ご当地電力」を供給している例もある。地域活性化と、再生可能エネルギーの地産地消を進めるうえで良いことと考えるが、市の見解は</p> <p>ウ 本市の新エネルギー振興基金の活用法を問う</p>		市長

質問者	9 大場利信	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 企業版ふるさと納税について		
<p>① 地方創生応援税制、いわゆる企業版ふるさと納税制度がH28年度に創設され、8月2日に寄附活用事業として全国で102の事業が認定されました。出雲市における今後の取り組みについて以下伺います。</p> <p>ア 制度の仕組み</p> <p>イ 主として個人を対象としたH27年度の「日本の心のふるさと出雲」応援寄附の中に企業からの寄附が356万円含まれていると聞くがこれについて伺います。</p> <p>ウ 企業版ふるさと納税の今後の活用の意向</p> <p>エ 現時点での具体的な準備状況</p> <p style="padding-left: 20px;">a 事業の絞り込み</p> <p style="padding-left: 20px;">b 企業との折衝・相談</p> <p style="padding-left: 20px;">c クリアすべき課題</p> <p>オ 認定申請時期など今後の計画</p>		市長

質問者	1 2 保 科 孝 充		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容				
(1) 市の文化行政の考え方を問う。			市民文化 部長	
<p>① 6月14日の毎日新聞島根版「風に吹かれて」の記事に「斐川文化会館」の使用についての項目があった。『斐川文化会館の値上げについて市の担当者へ問い合わせたところ、「演劇は個人の趣味だから」との答えが返ってきたという。確かに趣味とは「好きでしているもの」である。しかし、今どき時代錯誤もはなはだしい発言だ。市の文化程度が疑われる。』とある。</p> <p>ア 市の担当者とは、文化スポーツ課職員であったと聞いたが事実か。</p> <p>イ 「演劇は個人の趣味だから」とあるのは、市全体の考え方か。</p> <p>② 斐川文化会館の使用料が上がったため、利用者は他の施設の利用、あるいは回数を減らすなど苦勞をしている。</p> <p>ア 例年、研修室、和室、講義室で開催されていた文化祭の展示会場は、昨年は大ホールに変更されていた。その理由は何か。</p> <p>イ ほかの地域の文化施設の利用実態はどうか。</p> <p>ウ 利用料の見直しも、今後必要ではないのか。</p> <p>③ 出雲芸術文化振興財団と出雲芸術アカデミーの実態について聞く。</p> <p>ア 財団への委託料とアカデミーへの補助金はどのような内容か。</p> <p>イ 指定管理を受託された施設の、アカデミー会員の使用料はどうか。</p>				
(2) 職員給与の実態と今後の方針を問う。			総務部長	
<p>① 島根地方最低賃金審議会では、最低賃金を15年度より過去最高の22円引き上げて、時間あたり718円とし10月1日から適用することにした。民間でも格差是正へ向けて動きがあるが、市非正規職員の給与の実態について問う</p> <p>ア 市非正規職員の給与の推移を問う。(保育士・幼稚園教諭・事務職別)</p> <p>イ 市非正規職員の給与を今後見直す考えはないか問う。</p> <p>② 平成27年12月に示された財政計画によると、実質公債費比率は平成28年度で17.6パーセントと計画されている。平成21年度に21.9パーセントであったことを考えれば、執行部の皆さんの努力は評価される。</p> <p>ア ラスパイレス指数</p> <p>イ 職員給与の役職別減額率</p> <p>ウ 現在の給与減額措置はいつまで続けるのか。</p>				

質問者	2	岸 道 三	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 出雲市総合振興計画「出雲未来図」における後期基本計画の策定について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 前期基本計画の目標値と実績における結果と評価 ② 検証・分析の体制および手法 ③ 後期基本計画の策定に向けたスケジュール 			
(2) 相模原の事件を踏まえた対応について			
<ul style="list-style-type: none"> ① 今回の事件に対する所感 ② 今回の事件を踏まえた国・県の対応 ③ 出雲市としての対応 		市長	

質問者	8 原 正 雄		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 学校図書館活用事業について		教育長	
① 事業の内容、役割（目的）について ② 出雲市の取り組み状況について ③ 学校司書、読書ヘルパーの役割と配置について ④ 学校司書の役割は、学校教育の中で生徒、教員を補佐する重要な立場と考えます。松江市は全校配置と聞かすが出雲市は小学校37校中10校、中学校14校中0校となっているが、財政削減期間の処置という事なのか、県内他市との状況及び今後の取り組みを伺う			
(2) 鳥獣被害対策について		農林水産 部長	
① 出雲市で人的被害は ② 農作物被害は ③ 有害鳥獣捕獲業務委託の実施状況 ④ 鳥獣被害対策実施隊が出雲市は設置されていないがその取り組み状況は			
(3) ため池の一斉点検の実施について		市長	
① 平成28年4月～現在までの降雨状況は ② 稀れに見る空梅雨の時こそ、ため池の荒廃状況など調査点検が必要と考えます。補正予算を組むべきと考えるがいかがか			

質問者	32	珍 部 全 吾	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 今夏の各スポーツについての感想		市長	
① 初の出雲高校甲子園出場について市長の感想は。 ② リオオリンピックで日本勢は大活躍です。 今後、出雲市の青少年に対してのスポーツ振興の考えを問います。			
(2) 名誉市民制度について		市長	
① 旧出雲市・平田市・斐川町・佐田町・多伎町と合併した新出雲市では、当時名誉市民は19名でした。 先般、元出雲市長 直良光洋氏をご逝去され全ての方が故人となりました。 この制度を今後どの様にしていくのか市長の考えを問います。			
(3) 市庁舎内での喫煙所について		市長	
① 喫煙に対する市長の基本的な考え方 ② 現在、北側玄関と南側出入口の2箇所に喫煙所があるが、この場所についての考えは。			

質問者	19 萬代輝正	
質問事項・質問内容	答弁を 求める者	記事
(1) トキ分散飼育事業の現状と今後の展望		
<ul style="list-style-type: none"> ① 漢中市との長年にわたる交流実績 ② トキ分散飼育事業までの経緯と現状 ③ トキ一般公開に向けた環境省の考え方 ④ 他地域の取り組み状況 ⑤ 出雲市の一般公開に向けた取り組みと今後の展望について 	市長	

質問者	15 小村吉一		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容				
(1) 特別支援教育補助者の待遇の改善を求める				
<p>① 最低賃金が時給700円を越えそうです。特別支援教育補助者の時給は700円です。そこで伺います。</p> <p>ア 特別支援教育補助者の今年度の総数（性別）及び勤務年数</p> <p>イ 特別支援教育補助者の仕事の内容とその勤労についてどのように考えていますか。</p> <p>ウ 特別支援教育補助者の時給700円は当然改善すべきと考えるがどうですか。</p>		教育長		
(2) コミュニティセンターのあり方の検討について問う				
<p>① 今回のコミセンのあり方の検討は、主に職員の人員体制に限られているが、今後、さらにさまざまな点から検討し、改善を図る予定ですか。</p> <p>② 現在の職員の性別総数、年齢構成、勤続年数について伺います。</p> <p>③ 現在のコミセンの管理運営は、「コミュニティセンター運営協議会」に委託する形態を取っていますがその理由とメリット、デメリットについて伺います。</p> <p>④ 今回の見直しによると、コミセン全体の職員数は12名の減員となります。それでは、「地域の総合的な活動拠点」としての機能に後退や困難をもたらさないでしょうか。</p> <p>⑤ 見直しにより、12名の方が職を失います。その再雇用については万全でしょうか。</p> <p>⑥ コミセンの職員が、生涯の仕事として、安定的に勤務できるため、市職員並みに待遇改善を図るべきと考えますが、今後の方向性について伺います。</p>		市長		
(3) ^{みたひ} 三度学力調査（学力テスト）について問う				
<p>① 先の6月議会において、毎年繰り返される悉皆学力調査（学力テスト）について伺いました。しかし、時間の関係で討論することができませんでした。このままでは学校教育の向上に資さないと考え、再び伺います。</p> <p>ア 「学力向上推進リーダー」の会議は何回開催されたでしょうか。又、されるのでしょうか。そこで出た意見や成果について、もう少し具体的に教えてください。</p> <p>イ 市が学校教育に求める“出雲の子ども像、は何か。又、その像と学力テストにより平均点の向上を目指すこととのかわりについて伺います。</p>		教育長		

質問者	11 伊藤 繁 満	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 森林・林産業再生と森林法一部改正の課題について伺います。		記 事
<p>① 森林再生に向けた課題を伺う。</p> <p>ア 多面的機能の活用と人材育成</p> <p>イ 木育教育の現状と市内の公共施設で木造建築等の現状について</p> <p>② 県・市産材を利用した住宅の助成制度適用状況について、市内での実態を伺う。</p> <p>③ 森林法一部改正に伴う新たな負担と業務が全国的に問題となっているが出雲市において今後の見通しを伺う。</p> <p>④ 林地台帳整備が義務付けされたが、今後のスケジュールと概算事業費を伺う。</p> <p>⑤ 地籍調査と林地台帳との法的な違いによる現場での支障はないか伺う。</p> <p>⑥ 地籍調査の実施状況と今後の見通しについて伺う。</p> <p>ア 年度事業費アップと体制強化による進捗率アップについて</p>		市長

質問者	10 井原 優		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) 生活困窮者への支援について		市長		
<p>① 生活困窮者が、国の相次ぐ生活保護基準の引き下げなどで生活保護の申請・受給が困難になっています。市の窓口などの生活相談の実態を伺う。</p> <p>ア 生活相談件数 (生活保護を受けるための相談件数など)</p> <p>イ 生活保護申請件数</p> <p>ウ 生活保護受給者件数</p> <p>② 生活保護基準に満たないため、申請ができない人に対しても、継続的に親身な相談、支援体制を充実すべきではないか伺う。</p> <p>③ 生活保護受給者の中にはエアコンがなく、熱中症など健康状態の悪化や命にかかわる深刻な事態になりかねない。緊急に実態調査をおこなって必要な人がエアコンの設置を支援すべきであるが、伺う。</p>				
(2) 障がい者福祉について		市長		
<p>① 先般（7月26日未明に相模原市にある障がい施設で事件が発生）の相模原施設殺傷事件は、無防備な障がい者をねらった残忍な犯行が大きな襲撃を与えた。誰もが個人として尊重される社会・地域をどう作って行くのかが問われています。高齢者や障がい者、子どもなど弱者に優しい出雲市・地域社会をどう作っていくのか。市長の所見を伺う。また、施設のセキュリティーの対策について伺う。</p> <p>② 障がい者差別解消法が（2013年6月公布）施行され、市として民間事業者などとともに連携してどのような取り組みをおこなっていくのか伺う。</p> <p>③ 在宅生活の継続が困難になり、施設入所を希望しても障がい者が重い、職員の体制が不足しているなどの理由により入所できない実態があります。市として必要なサービスが利用できる体制整備をすべきではないか伺う。</p> <p>④ 障がい者が65歳になると介護保険が優先され、これまで利用していた障がいサービスから介護保険のサービスになり、利用者の負担なども増えることが心配されている。本人の生活実態に合わせ、必要なサービスの利用ができるようにすべきではないか伺う。また、国に対して市として求めるとともに、独自の施策をすべきではないか伺う。</p>				

質問者	20 板倉 一郎			
質問事項・質問内容			答弁を 求める者	記事
(1) 多文化共生社会について			市長	
<p>① 出雲市において、外国籍の住民が増えている中で、地域中では、いろいろな課題が発生している。今後も、出雲市が将来にわたって活力を維持していくためには、外国人のみなさんの力が必要であり、様々な課題を解決し、日本人および外国人が、ともに地域で住みやすい街でなければならないと考える。特に、外国籍の住民に対し偏見などが発生することが絶対に無いように行政が積極的に関わっていかなければならないと考える。そこで、次の点について、市長の考えを伺う。</p> <p>ア 今年度多文化共生プラン策定されたが、市長の考える多文化共生の社会とはどのようなものか伺う。</p> <p>イ 現在の外国籍の住民の在住の実態を伺う。地域別および、年齢構成別（成人、未成年、中学校、小学校、幼稚園、保育園、乳幼児などの区分）の人数や、定住率について伺う。</p> <p>ウ 将来の出雲市における外国籍の住民の人口増減を、どのように見通しているのか。また、少子化の中で、出雲市の労働力の担い手として、政策として増やしていく考えはあるのか伺う。</p> <p>エ 地域の中で、タバコや空き缶のポイ捨てや、ゴミの捨て方など様々な問題がある。そういったことに対しどのような対応をしているのか伺う。 あわせて、外国籍の自動車運転者が任意保険に入っていないため、車両事故時に困ったとの話がある。外国籍の自動車運転者に対し、任意保険などの加入などについて、雇用されている企業を含め、どのような対応をされているのか伺う。</p> <p>オ 地域の中で、地域住民と外国籍の住民が、お互いを理解し生活することが必要であるが、対話をする機会がない。行政や企業が、もっと積極的になかを取り持つ取り組みをしなければならないのではないかと考える。その仕組み作りについて伺う。</p>				
(2) 外国籍の子どもへの学習支援について			教育長	
<p>① 外国籍の子どものみなさんへの義務教育期間中の支援を伺う。</p> <p>② 外国籍の子どもだけを集めた授業について、塩冶小学校において、学習スペースがなく廊下で行っているとの話を聞いた。今後も児童数のことも考え、教室について整備すべきと考えるが、その考えを伺う。</p> <p>③ 外国籍の子どもが、学校に適応できるように教育する仕組み作りについて、どのようになっているのか伺う。また、塩冶小学校を、日本語学習の拠点校化する考えはないか伺う。</p> <p>④ 外国籍の子どもの高校への進学状況について伺う。現在、高校入試にあたって、特別措置があると聞いたが、どのようなものか。また、特別枠というものはあるのか伺う。</p> <p>⑤ NPO法人などとの連携は、どのようになっているのか伺う。</p>				

質問者	4 神 門 至	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容			
(1) 出雲市における計画道路の事業見直しについて			
<p>① 出雲市では、平成26年度から「急速な少子高齢化の進行に伴う人口減少や厳しい財政状況による公共事業費の縮減など、都市をめぐる社会情勢が大きく変化しており、都市計画道路についても、現在の計画が将来の都市に必要な道路網となっているか検証し、必要であれば速やかに見直すことが求められている。」などを理由として、路線の存続・変更・廃止の方針を示し、該当地域への住民・関係者説明会などが行われてきました。現在、この見直しについて最終的な局面を迎えていると考えます。同時に、都市計画法に基づいた「まちづくり」の視点から、地域の声を受け止め、将来像が描ける必要な道路網にしていく。また、計画で終わらないようにしていく必要があります。</p> <p>そこで、出雲市の都市計画道路の見直し及び、出雲市の幹線市道整備10か年計画の進捗状況について伺います。</p> <p>ア 出雲市の都市計画道路の見直しについて</p> <p> a 基本的な考え方は</p> <p> ・ 存続路線区間の理由等</p> <p> ・ 計画変更路線区間の理由等</p> <p> ・ 廃止路線区間の理由等</p> <p> b 住民・関係者説明会での意見等及び意見反映は</p> <p> c 今後の事業実施にかかる積算額は</p> <p> d また、早期実現に向けた優先順位及び見直しは</p> <p>イ 出雲市の幹線市道整備10か年計画の進捗状況について</p> <p> a 着手・未着手路線の現状は</p> <p> b 未着手路線の課題は</p> <p> c 今後の計画（10か年計画の策定期間）の見直しは</p>		都市建設部長	
(2) 出雲市社会福祉協議会の余裕財産の還元について			
<p>① 今年3月31日に社会福祉法等の一部を改正する法律が成立し、今年度の決算で所謂「余裕財産のある社会福祉法人」には、来年4月1日から地域貢献などを盛り込んだ社会福祉充実計画の策定と実施が義務づけられました。今後、所轄庁である市は、一層「地域の福祉ニーズ」に寄与できる福祉事業が展開されるよう、出雲市社会福祉協議会をはじめとする社会福祉法人への指導監督が求められていると考えます。</p> <p>そこで、市内でも多額の内部留保を有しているとされる出雲市社会福祉協議会（以下、法人という）の福祉事業に還元すべき余裕財産等について伺います。</p> <p>ア 法人の昨年度決算期における「財務内容及び余裕財産」の状況は</p> <p>イ 法人の余裕財産の還元に関する考え方は。また、市の考え方（見解）は</p> <p>ウ 来年の法律の施行に向けて、市はどのように指導監督していく考えか</p>		健康福祉部長	